令和８年　第３回　定例会発言通告整理表（受付順）

発言順	発言者氏名	発　言　通　告　内　容	答弁者	備　　考
1	能登　ゆう	「大雨の備えについて」 ８月に発生した千葉での豪雨災害は被災地域に甚大な被害を及ぼしましたが、その後も間をおかず、日本列島各地で大雨による災害が頻発しています。近年の激甚化した大雨災害では、河川の氾濫や内水氾濫により交通・物流・通信など社会全体の機能が同時に機能不全になる事例も少なくないようで、自治体にはより一層の備えが必要であると感じます。 赤井川村国土強靭化地域計画では大雨に関する想定災害として、「大雨や雪解けによる余市川、赤井川の氾濫等の住宅浸水、耕作地冠水、道路冠水・崩壊、これらの災害による健康被害や死傷」、「大雨による土砂崩れ・地滑りや、土石流等、これらの災害による健康被害や死傷」が提示されています。想定を踏まえ、大雨に対する村の備えについて何点か伺います。 ①　想定する大雨のレベル 村の地域防災計画、水防計画、国土強靭化地域計画等、災害関連の計画や防災対策について、どの程度の雨を想定しているのか伺います。最近頻発する「経験したこともないような大雨」「激甚化した大雨」は想定されているでしょうか？ ②　情報収集と判断基準 大雨による災害が予想される時、村はどのような情報を収集し、避難情報等を発令する際の判断基準とされているか伺います。 ③　道路が通行不能になった場合の備え 冠水や土砂災害、道路の崩落等で道路が通行不能になると、避難、救急・救護等の支援、物資輸送などが同時に困難になる可能性があります。 一部地域の孤立も想定されます。村内の幹線道路は浸水想定区域内を通ってお	村　長	

令和８年　第３回　定例会発言通告整理表（受付順）

発言順	発言者氏名	発　言　通　告　内　容	答弁者	備　　考
		り、冠水等により広範に通行不能となった場合、多大な影響が予想されます。避難ルート、支援ルート、物流の確保という観点から、具体的にどのような備えをされているのか伺います。 ④　役場機能の維持 　洪水ハザードマップには浸水想定地域が示されますが、実際の雨の降り方・地形・排水能力などによって、想定外の場所で浸水する事も珍しくないようです。 　大雨により役場庁舎、周辺道路が浸水・冠水した場合、災害対策本部が置かれる役場の機能をどのように維持していくのか、対策を伺います。 ⑤　具体的な訓練と検証 　役場庁舎の浸水と幹線道路の通行不能が同時に発生するケースを想定した庁舎内でのシミュレーションや訓練・検証は、行われているでしょうか？現状と、必要性についてお考えを伺います。		